

授業科目名		担当講師名		対象学年	
基礎看護学 日常生活援助技術・食事		脇田 真由美		1年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	(20)	教室・実習室	後期	不定期	不定期
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	健康と食事の意義、食事に必要な機能を理解し安全な食事援助がわかる				
到達目標	健康と食事の意義を理解し、栄養を保つ日常生活援助が習得できる。				
事前学習	栄養評価基準 BMI 水分出納 検査データー 咀嚼と嚥下機能				

### 授業計画

No.	授 業 内 容
1	食事の意義 栄養状態のアセスメント
2	食事に関する機能について (食欲 咀嚼 嚥下 姿勢)
3	食事介助の演習
4	非経口的栄養 (経鼻経管栄養 経腸栄養 静脈栄養 中心静脈栄養)
5	経鼻経管栄養挿入の実際
6	経鼻経管栄養注入の実際 (必要物品の取り扱い)
7	経鼻経管栄養注入技術デモ
8	演習
9	経鼻経管栄養技術試験
10	まとめ 終講試験
履修上の要件	解剖生理学:「消化器」の構造と機能について履修していることが望ましい。
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座専門Ⅰ 基礎看護学技術Ⅱ 医学書院 新体系看護学全書 基礎看護施術Ⅱ メジカルフレンド社 看護技術プラクティス 学研
成績評価の方法	筆記試験
備考	「活動と休息」「食事」「排泄」「環境」併せて2単位とする。